

新たに18名の方々をお迎えし、小林秀峰高校の新しい歴史が始まりました！

○4年目を迎えた本校は、本年度より、農業科・福祉科が加わり、4つの大学科からなる総合制専門高校としての新たなスタートを切りました。建築環境科が2・3年生のみとなり、平成25年3月閉科するまでは、農業、機械、電気、建築環境、商業、経営情報、福祉科の7つの学科の学校となります。そして、平成25年度の再編完了を目指して、さらに一步一步進んでいくことになります。再編準備室を再編整備室と改めて、農業関係の施設・設備の整備を中心に行なっていきます。

○今後の本校のさらなる充実・発展を考慮して、本年度は、主任や学級担任等を十分に検討し、お願いしました。新体制の下、みんなで協力して、様々なことに取り組んでいってほしいと考えています。年度当初は、いつもより大変かもしれませんが、よろしくお願ひします。

学校経営ビジョン及び重点目標を踏まえて、各校務分掌・学年・教科等で目標・計画の設定を

○裏面に掲載しているように、これまでの4本の柱は継続させた上で、その内容の充実を図りました。特に、以下の点については、これまでにない取組になりますので、十分な検討の上に、今後の継続的な取組につながる具体的な実践を行なっていってほしいと思います。

- ・「学ぶ姿勢」の育成・・・授業への取組、集団訓練、ルール・マナー、切磋琢磨する姿勢
朝自習を全学年で実施(8:15~8:25)内容は各学年で検討
- ・「分かる授業」の実践・・・意欲的な授業改善(アクションプラン)
- ・学科間のコラボレーションの研究・実践・・・総合制を生かした異なる学科が連携した取組
- ・インターアクト活動の推進・・・地域との連携の強化と地域への貢献

新たな伝統である「秀峰ブランド」のさらなる確立を目指して

○これまでに、次のようなことが、「秀峰ブランド」として、あげられるようになってきたと思います。

- ・あいさつ、礼儀作法がしっかりしている。・・・社会人としての基本を身に付けている。
- ・部活動が活発であり、全国的にも活躍している。・・・地域に元気を与え、貢献している。
- ・進路決定率100%を達成している。・・・資格取得、進路対策に熱心に取り組んでいる。

しかし、生徒たちは、まだまだ多くの「よさ」持っており、それらを生かして、生徒たちを大きく成長させ「秀峰ブランド」につなげることができると思います。そのための努力を今後も続けていきたいと考えています。本年度末には、さらに、項目が増えることを期待しています。

「がんばろう日本」・・・「震災復興へ 祈りよ届け」

○本校男子ハンドボール部、新体操部が出場予定だった全国高校選抜大会は、東北関東大震災を配慮し、中止となりました。練習の成果を発揮できませんでしたが、次の目標に向かって頑張っていってほしいと思います。今、日本全体が「がんばろう！日本」のスローガンの下、一日も早い事態の収束と復興に努めようとしています。○今後、社会に巣立っていく秀峰生にも、生きていること・命に感謝しつつ、様々なことに意欲的に一生懸命取り組んでほしいと思います。本校では、**部活動全員加入**となっていますので、部活動で頑張ることも「人間力」を育成する上で重要なことだと考えています。



必ず春はやって来ます。中庭の桜が綺麗

☆年度当初は、会議も多く、各校務分掌や個人の年間目標を立てたり、新学年の生徒を指導したりと大変なことが多いと思いますが、スタートを大切にしてください。